

令和 5 年度 工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	小田原アシスト				事業種別	就労継続B型事業		
平均工賃の推移	前々年度（令和 3 年度）実績				前年度（令和 4 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	13,478	15,750	14,615	月額	14,062	16,116	15,104
	時間額	201	203	202	時間額	180	205	192
平均工賃の目標	今年度（令和 5 年度）目標				令和 5 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R 6 年	R 7 年	R 8 年
	月額	15,618	15,618	15,618	月額	16,148	16,762	17,399
	時間額	201	201	201	時間額	210	220	231
前々年度と比較した前年度の工賃支給状況	支払総額		（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （○）減少傾向					
	延べ工賃支払対象者数		（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （○）減少傾向					
	延べ勤務時間数		（ ）増加傾向 （○）横ばい傾向 （○）減少傾向					
	平均工賃	月額	（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （○）減少傾向					
		時間額	（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （○）減少傾向					
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目		前年度収入額	割合	傾向			
	自動車部品		4,945 千円	23 %	横這い			
	パン作業		10,256 千円	48 %	横這い			
	内職作業		5,862 千円	28 %	微増している			
	自主製品		千円	%				
			千円	%				
前年度に工賃向上に効果上げた具体的な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品の作業受注量が大きく減少したが、（株）研進様より3月に年度末手当（コロナ禍での受注減少分を補填する意味合い）として、臨時の収入があり大きなマイナスを回避することが出来た。 ・パン作業で新商品「レモンケーキ」は売上好調である 							
工賃向上のためにクリアしなければならない課題事項（複数回答可）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> （ ） 販売品に魅力がない （○） 販売先が限られている （○） 受注単価が安い （ ） 他事業所とのネットワークがない （○） 職員の作業負荷増大 （ ） 職員のコンセンサス （ ） その他（ ） </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> （ ） 販売品種が少ない （ ） 立地条件が悪い （○） 多量の注文が受けられない （○） 利用者の作業負荷増大 （ ） 利用者特性 </div> </div>							
優先的にクリアしなければならない課題の具体的な内容と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・パン作業において、原料高に対応するために商品の価格を値上げしたが、その分売れ残りロスとなる事が時々見受けられた。 →ロスをいかに防止していくか、天気、曜日などの売り上げのデータ化などにより適正量を把握していく必要がある。 ・内職作業の受注量が多くなっているため、適正作業の選定を行っていく。 							
今年度計画している改善策（複数回答可）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> （○） 品質の向上 （ ） 他事業所とのネットワーク化 （○） 作業種目の見直し （ ） 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （ ） その他（ ） </div> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> （○） 販路開拓 （○） 内部努力 （○） 職員の意識啓発 </div> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> （○） 新商品開発 </div> </div>							
今年度計画している改善策の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・（株）研進様より、部品単価の上昇（コスト高、輸送高などの社会情勢の変化及び作業受注量の減少が継続している状況を合わせて配慮して頂いた）があり昨年度並みの受注量があれば、収益は増加する見込みである。 ・内職作業においての単価向上を交渉するなどして、受注単価を見直していく。 ・パン工房において、野菜や加工品の販売を実施し新たな顧客を獲得していく。 ・職員、利用者のスキル向上を図り、多目的な作業に対応できるようにしていき今後の作業の幅を広げていく。 							
目標工賃達成指導員					金田 陽子			